

正誤表

『MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート』第2版第1刷（2018年3月30日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2019年9月2日

金原出版株式会社

記

正誤訂正

頁	訂正箇所	誤	正
21	コラム MR装置に関する法規	(図の中段下) <u>改正薬事法</u>	薬機法
		(図の中段下) <u>2012 JIS Z 4951 改訂版</u>	2013, 2015, 2017 JIS Z4951 に改訂
		(図下解説) <u>平成17年改正薬機法</u>	薬機法
		(説明文14行目) JISが2012年版である。	JIS が 2017 年版である。
49	コラム 装置の管理と法律 3行目	<u>平成17年改正薬機法</u>	薬機法
73	FOV一定でマトリックス数を変化させた場合 図	(図上) <u>0.47mm×0.47mm</u>	0.94mm×0.94mm
		(図下) <u>0.94mm×0.94mm</u>	0.47mm×0.47mm
138	1.特徴 図	(3行目に追加)	●自由水 (CSF など) からの信号を抑制
	2行目	null pointを <u>脳脊髄液</u> に合わせたIR法である。	null pointを自由水 (CSF など) に合わせた IR 法である。
	4行目	脳脊髄液のT ₁ 値は…… <u>脳脊髄液</u> からの……	脳脊髄液 (CSF) の T ₁ 値は… …CSF からの……
	11行目	<u>磁場の均一性の影響を受けにくい脳脊髄液信号抑制法</u> である。	180° パルスを利用するため、磁場の不均一によって生じる位相分散の影響を受けにくい。
233	A 国際基準と国内基準 図	JIS Z4951 2012年版 (2012年)	JIS Z4951 2017 年度版

	A 国際基準 と国内基準 6行目	JISが2012年に公表したものである。	JISが2017年に公表したものである。
	B 安全管理 基準 (JIS Z4951) 表	(2行目中央列) $3T < B_0 \leq 4T$	$3T < B_0 \leq 8T$
284	E 各種画像 画像名	3. $T_2 * WI$: T_2 Star Weighted Image	3. $PDWI$: Proton Density Weighted Image
356	C 屈折 図 b)	媒質 A(c_1) 媒質 B(c_2)	媒質 A($C1$) 媒質 B($C2$)
		$\frac{\sin \theta_1}{\sin \theta_2} = \frac{c_1}{c_2}$	$\frac{\sin \theta_1}{\sin \theta_2} = \frac{C1}{C2}$
357	図の見出し	($C_1 \leq C_2$ の時)	($C1 > C2$ の時)
358	図の見出し	($C_1 \geq C_2$ の時)	($C1 < C2$ の時)
508	1行目	●水中で高エネルギーの超音波を照射すると、キャビテーションが原因となり、フリーラジカルが発生する。	●水中に高エネルギーの超音波を照射すると、キャビテーションにより発生した気泡が圧壊して衝撃波が発生する。
	4行目	●キャビテーションで発生した気泡が圧壊する際に、衝撃波が発生する。その衝撃波エネルギーが、……	●発生した衝撃波のエネルギーが、……
511	音響出力と 音響強度 図	(図右下解説) 超音波強度は、音圧 $P(t)$ とすると	超音波強度(W/cm^2)は、音圧 $P(t)$ とすると
		音圧 $I(t)$	超音波強度 $I(t)$
		$I(t) = \frac{P(t)^2}{\rho c} (W/cm^2)$	$I(t) = \frac{P^2(t)}{\rho c}$
515	3行目	……画質を濃度分解能評価、距離分解能、方位分解能、至近距離分解能評価、……	……画質を濃度分解能、距離分解能、方位分解能、至近距離分解能、……

以上

正誤表

『MR・超音波・眼底 基礎知識図解ノート』第2版第1刷（2018年3月30日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2018年11月20日

金原出版株式会社

記

頁	訂正箇所	誤	正
64	6.周波数エンコード 下から3行目	位置と周波数を <u>させて</u> おけば、位置を特定できることになる。	位置と周波数を <u>対応させて</u> おけば、位置を特定できることになる。
148	D.Dixon法 下から3行目	<u>TR</u> = 4.5 ms のときは再び同位相 (in phase) となる。	<u>TE</u> = 4.5 ms のときは再び同位相 (in phase) となる。
216	3.ゴーストの間隔 図中の式	$D [\text{pixel}] = \frac{\text{TR} [\text{s}] \times N_y \times \text{NEX}}{\text{体動の周波数}}$	$D [\text{pixel}] = \frac{\text{TR} [\text{s}] \times N_y \times \text{NEX}}{\text{体動の周期}}$

以上